

基本方針 [社会と向き合う JIA]

建築家精神の再確認と継承

社団法人日本建築家協会は、会員一丸となって基本となる建築家精神を再確認した上で、その精神を次世代に継承していくことを目指します。そのためには JIA は社会と向き合い、直面する業務環境改善に努めるとともに、中長期的展望の元に持続可能な JIA のあり方を明確にしていく必要があります。

< 2011年 UIA 大会を成功へ >

来年に迫ってきた 2011 年 UIA 東京大会開催は JIA 会員にとって建築家精神を見つめ直し、自らのアイデンティティを確認するとともに、広く社会に建築家への理解を深められる絶好の機会です。

JIA は全力を上げて大会の成功に貢献していきます。

[UIA 大会推進特別委員会設置]

従来 UIA 準備委員会を UIA 大会推進特別委員会に改組します。

会長が本部委員長、支部長が委員となり、各支部には支部 UIA 大会推進特別委員会を設置して、JIA 総力を挙げての推進体制とします。

< 内外両面の大改革 >

経済状況や業務環境がますます厳しくなっている中で、次世代 JIA の基盤を強固にするため、内向きの改革<組織再編と財務再建>と、外向きの改革<法・資格制度改革>の双方を並行して進めます。

[特別会議設置]

従来委員会活動を横断する形で3つの特別会議を設け、3人の副会長が議長を担当し、2010年度の最重要課題に取り組みます。

組織再編特別会議	議長・担当副会長：室伏次郎
財政再建特別会議	議長・担当副会長：小田義彦
法・資格制度特別会議	議長・担当副会長：東條隆郎

事業内容

< 組織再編 >

- 新法人形態選択
今年度中に法人形態の選択が必要となるため、秋の臨時総会において公益社団法人か、一般社団法人かの選択を行います。
- 本部、支部、地域会の再編
本部・支部・地域会の機能分担・事業内容・管理体制の実態を把握した上で、見直し及び再定義を行います。
- 委員会再編
委員会の活動内容を精査の上、定款目的に照らし合わせ、整理統合を行います。
- 会員制度の再検討
JIA の将来像を見据えて、会員数・会員種別をはじめとする体系を検討します。
- 事務局機能強化
新法人化対応に向けて、本部・支部・地域会事務局の連携を強化し、業務の効率化を図るとともに、事務局体制の基盤づくりを行います。特に経理システムの改善を緊急課題としています。

< 財政再建 >

- 会費体系の見直し
前回の会費改定以降、大幅な財政難にあり、抜本的な会費体系の見直しを緊急の課題として迫られています。これに基づき、本部・支部・地域会の会費体系見直し及び JIA の将来に向けての適切な会費設定を秋の臨時総会を目標にまとめます。
- 事業見直し
事業仕分けを行い、JIA にとって不可欠な事業を明らかにします。
各事業の推進については予算削減に努め、特に収益事業については赤字を出さないようマネージメントを徹底します。
- 国際交流基金の将来計画策定
新法人形態選択、UIA2011 東京大会を見据え、建築家国際交流基金の位置づけと将来計画を策定します。

< 法・資格制度改革 >

- 次世代社会システム提唱
よりよい建築とまちづくりのために、法・資格制度や職能団体のあり方を示す次世代社会システムのグランドデザインづくりを行い、広く市民・社会に提唱します。
- 建築基本法制定推進
提唱するグランドデザインを元に他会との合意形成を図りながら、建築基本法制定の動きに積極的に参画します。
建築基本法を軸として、建築基準法、建築士法等の関連法規整備に向けての活動を推進します。

- 建築設計者国家資格実現戦略の検討
次世代の法・資格制度を見据え、士会との対話を再開して、建築設計者国家資格実現にむけた戦略の見直し及び検討を行います。その際、登録建築家と建築設計者国家資格との関係を明確にします。
- 登録建築家資格制度の推進
UIA 大会を契機に登録建築家の更なる普及をめざすとともに、広く社会に信頼される建築家像をアピールします。
他会とのフェデレーションを視野に、認定機関の検討を進めます。

< 業務環境改善 >

- コンペ・プロポーザル問題
公共プロポーザルの参加条件適正化に向けて行動します。
又、自治体等に働きかけ、JIA がコンペ・プロポーザルの企画・運用を支援し、公平な設計者選定促進を図ります。
- 入札・ダンピング問題
建築設計が入札にそぐわないことを主張し、特に低価格入札に対して、厳重に対処していきます。根本的な解決に向けて、会計法、自治法に起因する入札制度を改める新たな法制定を目指します。
- 設計契約の健全化
適切な契約時期や業務内容、報酬の明確化等、設計契約の健全化を推進します。

< 新たなマーケット開拓と JIA ブランド構築 >

- コミュニティアーキテクト
地域で建築・まちづくりをサポートする専門家としての[コミュニティアーキテクト]の業務を新たに創り出していきます。将来的には建築基準法の集団規定許可制を視野に入れた、社会制度に位置けていくことを目指します。
- JIA アーキテクト
国際的設計活動に向けて、情報提供や活動支援を積極的に行い、UIA 基準の建築家[JIA アーキテクト]としての活動拡大を推進します。
- ブランドイメージ構築
UIA 大会を契機に、広報・メディアを活用し、社会から信頼される建築家、JIA というブランドの認知拡大に働きかけます。

< UIA2011 東京大会の推進 >

UIA 大会推進特別委員会を設置し、大会意義及び内容を全会員に周知徹底した上で、大会登録、寄付協力、プログラム参加の三位一体の貢献を JIA 組織を挙げて行い、大会成功を実現します。